

## 平成 22 年度牧之原市当初予算案について

### 1 当初予算(案)の総額

	予 算 額	( 前年度対比	伸び率)
一般会計(歳入歳出)	160億7,000万円	(12億7,800万円	7.4%)
特別会計(歳入歳出)	89億5,875万8千円	(2億5,857万6千円	3.0%)
合 計	250億2,875万8千円	(10億1,942万4千円	3.9%)

### 2 市議会への提案

2月26日開会の市議会2月定例会に提案する。

### 3 当初予算(案)の概要

#### 1) 総括

一般会計と特別会計の総額は、25,028,758千円、前年度比1,019,424千円、3.9%の減額となった。

#### 【一般会計】

- ・一般会計は、16,070,000千円、前年度比1,278,000千円、7.4%の大幅な減額となった。
- ・世界的経済状況の悪化による影響により、市民税法人税割及び所得割が大幅な減額となり、非常に厳しい緊縮予算となった。
- ・事業抑制をする一方、生活道路の渋滞解消に向けた新規幹線道路や3年目となるまちづくり交付金事業などの将来への社会基盤整備に重点をおいた予算計上とした。
- ・編成に当たっては、「普通建設事業の新規事業の見送り、延伸可能な事業については延伸」、「補助金の原則2割カット」、「計画策定の委託業務は、極力外注しない」、「職員の補充を極力控える。」など厳しい査定方針により行った。

#### 【特別会計】

- ・特別会計は、8,958,758千円、前年度比258,576千円、3.0%の増額となった。
- ・平成20年4月から始まった後期高齢者医療事業に伴い、老人保健特別会計が96.2%の減額となった。国民健康保険特別会計は、診療報酬の改定による医療費の増額が見込まれるため3.3%の増額となっている。また、介護保険特別会計においても、利用者の増による給付費の増額が見込まれるため、6.5%の増額となっている。土地取得特別会計では、市債の償還も終了し、土地の購入・売却の予定もないため99.2%の大幅な減額となっている。

#### 2) 歳入(一般会計)

- ・市税は、世界的な経済状況の悪化による市民税の所得割や法人税割の減(市民税27.6%、個人18.7%、法人52.5%)などを見込み、7,258,202千円、前年度比916,000千円、11.2%の減額とした。
- ・普通交付税は、税収の減や生活・雇用対策として設けられた地域活性化・雇用等臨時特例費の創出などにより、1,430,000千円を見込み、前年度比380,000千円、36.2%の増額とした。
- ・国庫支出金は、平成22年度から創設される子ども手当に係る負担金の増額を見込み、1,652,156千円、前年度比590,803千円、55.7%の増額となった。
- ・寄附金は、一法人からの2億5千万円を見込み、250,502千円となった。
- ・繰入金は、大幅な税収減を補うため、財政調整基金(500,000千円)、減債基金(150,000千円)の取り崩しを行う。

- ・ 諸収入は、指定管理者の導入により榛原総合病院への貸付金を廃止し、296,159 千円、前年度比 730,847 千円、71.2%の減額となった。
- ・ 市債は、臨時財政対策債の大幅な増額が見込まれるが、起債事業においては、公債費負担適正化計画を遵守するため事業の延伸等を行い、1,407,700 千円、前年度比 543,100 千円、27.8%の大幅な減額となった。

### 3) 歳出(一般会計)

- ・ 平成 22 年度に実施する事業を総合計画における 6 つの重点政策課題により整理し、主要な事業を以下に示す。(別紙、「平成 22 年度 主要事業等」参照)

#### 「1 生涯安心」は、市民が適切なサービスを選択し、自らが行う活動への支援充実と地域での支えあいの仕組みづくりなどに取り組む。

主要な事業としては、駿遠学園に入所する過齢者移行対策として共同生活介護施設を整備するための負担金(12,948 千円)、地区の中心的施設である和光館の耐震補強工事(16,594 千円)、榛南地域の基幹病院で 3 月に指定管理者が導入される榛原総合病院組合への負担金(1,062,978 千円)である。

#### 「2 まちの活力」は、様々な分野における市民と行政との協働の強化や空港・港・道路等の交通基盤の整備やこれらを活用した地域振興に取り組む。

主要な事業は、市民自治によるまちづくりを実現するための一歩として、市民協働による自治基本条例(案)の作成(614 千円)、協働に係るファシリテーターやリーダーの育成(423 千円)、市内の幹線道路や生活道路などの道路網の整備として静波中通線(22,120 千円)・並木山脇線(15,000 千円)・川角口 2 号線(25,080 千円)・山の手幹線(273,282 千円)・細江 1 号幹線(50,100 千円)や企業誘致により予想される交通渋滞等への対応としての壺丁田北線・大倉壺丁田線(217,454 千円)、西原 2 号線(53,840 千円)、企業誘致促進道路改良事業(63,500 千円)である。

#### 「3 農工両善」は、市の基幹産業である農業と市の活性化を担う工業との共存を図る取り組みを行う。

主要な事業は、耕作放棄地の再利用への取り組み(1,000 千円)、茶業の振興を図るため、品種茶の導入・基盤整備、静岡牧之原茶のブランド力の強化などへの取り組み(29,971 千円)、県営畑地帯総合整備事業第 2 期(52,038 千円)、産業道路として整備を進める広域農道への負担金(17,525 千円)である。

#### 「4 環境行動」は、環境行政への総合的、計画的な取り組みを行う。

主要な事業は、国のグリーンニューディール基金事業を活用し実施する庁舎への太陽光発電設備の設置及び照明設備の LED 化工事(38,000 千円)、家庭からの二酸化炭素削減を図るエコマイハウス支援事業(1,140 千円)である。

#### 「5 安全なまちづくり」は、防災、交通、日常生活など様々な点から見直しを行い、市民が安全に、安心して生活できる環境を整える取り組みを行う。

主要な事業は、消費生活の多様化による事業者とのトラブルへの対策として、消費生活センターの設置(3,537 千円)、急傾斜地を背後に抱える市民の生命及び財産を守るための崩壊防止事業への負担金(12,000 千円)、昨年 8 月の地震により希望者が増加した住宅の耐震診断及び耐震化促進事業(13,250 千円)、老朽化した消防ポンプ車の更新(32,351 千円)である。

#### 「6 子育て徳育」は、将来を担う子どもが、安全に、健康に成長していくことが可能な環境づくりに取り組む。

主要な事業は、児童虐待や DV 被害の相談・支援体制の充実(4,060 千円)、放課後児童クラブの運営(24,738 千円)、子ども手当(887,900 千円)、児童生徒の興味や関心、特性に応じた授業を実践するための補助員の配置(8,200 千円)、外国人児童・生徒の学習支援等を行う相談員の配置(4,620 千円)、老朽化により修繕が増加傾向にある学校施設の計画的改修(44,100 千円)である。